

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 87 2014年4月

発 行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会誌「特集号」の電子化配付について

日頃、当学会の発展に絶大なご支援をいただいておりますことを心よりお礼申し上げます。

現在、信頼性学会の運営費は主に個人会員および、賛助会員からの会費でまかなっております。しかし、この運営はギリギリの予算での綱渡りの状況です。これまで学会誌以外の費用で可能な限り出費削減に努力してまいりました。しかし出費削減に限界が在り、ついには聖域であった学会誌の費用（紙ベースでの会誌発刊に伴う印刷、郵送費用）にメスを入れざる負えなくなってきました。

そのため今期はまずは学会誌「特集」号*に対して電子化を行うことで費用逡減効果を確認し、さらに会員の皆様からのご意見を伺う所存であります。

(*「特集」号は年二回の発行であり、基本的に論文を含まないため、このような処置をさせて頂きたく何卒御赦し下さい)

以上の背景をご理解の上、電子化にご理解いただきたくお願いする次第です。

* 2014年度の電子化配布：5月号、10月号を予定しています。

* 電子媒体の閲覧はホームページ上にてパスワードを入力することで可能となります。

日本信頼性学会
会長 鈴木和幸

日本信頼性学会 2013 年度第 2 回見学会

次の通り、日本信頼性学会の見学会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

(日 時) 2014年5月16日(金) 13:30~16:00 集合は 13:45 崎陽軒横浜工場正門前(厳守)

(見学先) 株式会社崎陽軒 横浜工場 〒224-0044 横浜市都筑区川向町 675 番 1 号

<http://www.kiyoken.com/factory/> を参照

(交 通) JR・横浜市営地下鉄新横浜駅より市営バス約 10 分 港北インター下車 1 分

300 系統「仲町台駅」行（詳細は、ご参加の方にご連絡いたします）

- (内 容)
1. シウマイの生産工程の見学
 2. 展示の見学
 3. 崎陽軒の歴史，製造工程の説明 VTR
 4. シウマイ・横濱月餅の試食
 5. 意見交換

今回は，崎陽軒 横浜工場の見学会を企画しました。

崎陽軒横浜工場では，2003 年より，安心・安全な「シウマイ」の製造工程を見学できる工場見学を実施しています。工場見学の冒頭では，VTR にて，崎陽軒の歴史やシウマイの製造工程を説明していただき，崎陽軒のものづくりに対する姿勢や安全・安心への取り組みを伺います。

また，シウマイの製造工程や製造工程中の品質管理等について見学させていただき，その後，製造上における信頼性・安全・安心への姿勢や取組について，当見学会のため特別にご専門の方からご教示いただき，意見交換等を行います。

最後は，出来立てのシウマイ・横濱月餅の試食もあります。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

(参加費) 会員および学生：無料 / 非会員：2,000 円

(申込方法) 学会ホームページ <http://www.reaj.jp/> よりお申込ください。

(申込締切) 2014 年 5 月 8 日 (木)

参加人数は 20 人以内とします。定員になり次第締め切ります。

(問合せ先) 日本信頼性学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内
電話 03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 2013 年度第 2 回フォーラム 「新版 信頼性ハンドブック刊行記念」レクチャーシリーズ 第 2 回：システムの信頼性・安全性

上記のハンドブックの刊行を記念し，広く社会への発信と会員へのサービスを目的に信頼性・安全性のレクチャーシリーズ（第 2 回）を実施します。

今回は，「新版 信頼性ハンドブック」の著者の中から，システムの信頼性・安全性に造詣の深い 3 名をお迎えして，ご専門の分野についてレクチャーを頂きます。片平 真史 氏（(独)宇宙航空研究開発機構 計算工学センター）は国際宇宙ステーション計画のソフトウェア安全設計・開発保証の第一人者です。中村 英夫 氏（日本大学）は鉄道の安全性実現に不可欠なフェールセーフシステムの権威で，本学会の会長を務められました。また，金川 信康 氏（㈱日立製作所）は産業界での高信頼システムの第一人者です。

会員・非会員を問わず，より多くの方々のご参加を祈念致します。

(日 時) 2014 年 6 月 3 日 (火) 13:00～17:30

(会 場) 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル
渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(参加費) 正会員・賛助会員・協賛学協会員 2,000 円，非会員 3,000 円，学生 無料

「新版 信頼性ハンドブック」購入予約済の方は1冊につき1名無料
(申込方法) 日本信頼性学会のホームページ (<http://www.reaj.jp/>) からご予約ください。
(お申込) 日本信頼性学会事務局
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内
TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp
(プログラム 13:00~13:05 開会挨拶 鈴木 和幸氏 (日本信頼性学会会長・電気通信大学)
13:05~14:35 「フェールセーフとフォールトトレランス」
中村 英夫 氏 (日本大学)
14:35~14:50 休憩
14:50~15:40 「高信頼計算機システムの動向」(仮) 金川 信康 氏 (株)日立製作所
15:40~16:30 「宇宙システム搭載ソフトウェアのアセスメントと
独立検証及び妥当性確認 (IV&V)」
片平 真史 氏 ((独)宇宙航空研究開発機構 計算工学センター)
16:30~16:45 休憩
16:45~17:30 総合討論 講演者各位 (司会: 鈴木 和幸氏)

※上記の講演タイトルは変更になることもございます。

日本信頼性学会 関西支部 2013 年度 第 3 回見学会

次の通り、日本信頼性学会関西支部の見学会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

- (日 時) 2014 年 5 月 20 日 (火) 14 : 00~16 : 00
(見学先) 地方独立行政法人大阪市立工業研究所
〒536-8553 大阪市城東区森之宮1-6-50
同研究所HP <http://www.omtri.or.jp/>
(集 合) 研究所の玄関に、13 : 50 までにご集合ください。
(交 通) JR 大阪環状線・地下鉄中央線または鶴見緑地線 「森ノ宮駅」下車徒歩 10 分
(内 容) 1. 研究所概要説明
2. 施設見学
施設① 次世代光デバイス評価支援センター
(全光束測定システム, 配光測定システム)
施設② ICP発光分光分析装置
施設③ 振動試験室・無響室

大阪市立工業研究所は、大正5年の設立以来、主に化学分野に関する研究開発に取り組み、その成果を基盤として、受託研究を中心とする技術支援を行い、また、技術ノウハウを広く公開するなど、市内中小企業の技術支援機関として大きな役割を果たしてまいりました。

この研究所は、企業ニーズの的確な把握や特許の実用化をめざす企業との密接な連携等を進め、企画開発から製品化に至る一貫した支援を行っております。また、産学官連携の強化や重点研究分野における融合研究等の推進を通じて、将来市場の製品を指向した技術シーズの創出を図るなど、地域における中核的な技術支援機関です。

今回は、同研究所内の施設の中でから化学分野の設備をはじめ、分析・評価の代表的な設備を見学させて戴けます。今後の分析機器や設備の利用の検討、さらに化学分野の理解を深めるのにまたとない機会と思われまます。是非、多くの方のご参加をお待ちしております。

(参加費) 会員：無料 非会員：2,000 円

(申込方法) 日本信頼性学会のホームページからご予約ください (<http://www.reaj.jp/>)。

※1 会員番号 (非会員の場合は“一般”と記入)、氏名、勤務先、連絡先 (E-mail, TEL) を入力。

※2 不明な点があれば、下記問合せ先に連絡してください。

(申込締切) 2014 年 5 月 16 日 (金)

(問合せ先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]

〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部 4 階

一般財団法人日本科学技術連盟 大阪事務所 内

Tel : 06-6341-4627 Fax : 06-6341-4615 E-mail : reaj-kansai@juse.or.jp

注 : 参加人数は 20 名以内とします。定員になり次第締め切ります。同業他社の方はご遠慮ください。

日本信頼性学会 IECディペンダビリティ規格研究会

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 2014 年 4 月 22 日 (火) 18:30~21:00

(場 所) 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書 (『ライフサイクル コスティング—JIS C5750-3-3 導入と適用事例—) の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lcc の啓発活動もおこなっています。

毎月 1 回、原則として金曜日の夜に千駄ヶ谷もしくは東高円寺の日科技連ビルに集まり、2 時間にわた

る研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーがこの1ヵ月間で収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当者を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日時と講演内容)

2014年4月18日(金) 18:00~20:00

18:00~19:00 情報交換会

19:00~20:00 講演: PRICE Systems の「TruePlanning」のご紹介

講演者: 鈴木 一 氏 (株式会社 DSR)

2014年5月30日(金) 18:00~20:00

18:00~19:00 情報交換会

19:00~20:00 講演 (詳細未定)

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル会議室

(渋谷区千駄ヶ谷5-10-11) (JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線北参道駅から徒歩7分, 都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com

同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 4月例会 (第113回)

(日 時) 2014年4月25日(金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル 1号館3階講堂

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(議 題)

1) 幹事会からの連絡事項 13:00~13:15

- ・新入会員の紹介, プザーバの紹介
- ・日本信頼性学会情報他

2) プレゼン

①板状のNi-Sn金属間化合物によるSnウイスカの抑制メカニズム

・・・(株) 村田製作所 斎藤 彰氏 13:15~14:15

<概要>

実装前の部品の熱処理により, Snめっき層内に板状のNi-Sn金属間化合物を形成することで, ウイスカのリスクを低減できることを見出した. 解析結果をFTAを活用して整理し, ウイスカの抑制メカニズムを提案する.

②なぜ, ユーザーが信頼性を分析するのか・・・会員 山添雅彦氏 14:15~15:00

<概要>

老朽劣化による設備更新やオーバーホールの実施にあたり, その実施年数が妥当なのか, コストを含めて問われている. また, 設備の安定運用を目指すためにも劣化状況と劣化予測による効果的

な保全が求められている。われわれユーザー側でも、信頼性を分析することで保全に関する指針を定め、安心・安全のもとに設備運用が図れると考える。

(休 憩) 15:00～15:15

③ (仮) 難燃剤の研究 . . . 会員 西野裕暁氏 15:15～15:45

3) 紹介&議論

①失敗知識データベース . . . 会員 井上勝夫氏 15:45～16:15

②不再現 (不安定) に関する事例紹介と議論 (その7) 会員味岡恒夫氏 16:15～16:45

4) 今後の予定

・6月例会 (第114回) 開催案内 (案)

日時: 6月20日 (金) 13:00～17:00, 場所: 日科技連 千駄ヶ谷 3号館3階C室

・その他

(連絡先) 日本信頼性学会 事務局 reaj@juse.or.jp (故障物性研究会 主 査 土屋英晴 hideharu-tuchiya@anden.co.jp 副主査 味岡恒夫 ajioka542@oki.com

4月例会ご参加ご希望の方は、4月18日 (金) までに事務局あてお知らせください。

第 41 回横幹技術フォーラム

社会的課題解決のためのイノベーション～社会システムとしての街づくり～

(日 時) 2014年4月30日 (水) 13時～16時20分

(会 場) 東京大学 山上会館 2階 大会議室

(主 催) 横幹技術協議会, 横幹連合

(参加費) 横幹技術協議会会員企業の関係者, 横幹連合会員学会の正会員, 学生は参加無料。

当日資料代: 1,000円

(上記以外) 一般 2,000円 (資料代込)

(企画趣旨)

2011年3月11日に発生した東日本大震災から3年が過ぎ、被災地では仮設住宅から復興住宅への移転が始まりつつあり、復興住宅建設に合わせて近隣の街のデザインを検討すべき段階に入っている。被災地の多くは地方都市であり、被災による人口流出や今後の高齢少子化の社会的課題に対しては、特に街全体への影響が大きく、今後の人口の増減に応じたスケーラブルな街づくりおよび社会システムを検討する必要がある。被災地は、今後の日本における高齢化社会や産業空洞化の問題の縮図となっており、被災地の街づくりや社会システム設計は、次世代に向けた日本全体の街づくりと密接な関係があると言える。本技術フォーラムでは、被災地を事例の一つとして、今後の社会課題解決のためのイノベーションにつながる社会システム実現に向け、どのように産学官が共同して研究開発を進め、イノベーションにつなげていくべきかについて講演ならびにパネルディスカッションにて議論する。

詳細は、http://www.trasti.jp/forum/forum41_kyg.html をご参照ください。

2014年度 第30回 FMES シンポジウム

ビッグデータ利活用と価値創造

(日 時) 2014年7月11日(金) 13:00～17:05

(会 場) 日科技連 千駄ヶ谷本部ビル 1号館 3階講堂 (渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11)

http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(主 催) 経営工学関連学会協議会

(共 催) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 公益社団法人日本経営工学会, 一般社団法人経営情報学会, 研究・技術計画学会, 日本信頼性学会, 一般社団法人日本設備管理学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 (順不同)

(開催趣旨)

インターネットの普及とIT技術の進化によって生まれた大容量かつ多様なデータ,いわゆる『ビッグデータ』とその活用が注目されています。経営工学関連学会協議会(FMES)においても,ビッグデータの現状を理解し,その利活用について議論していくことは意義があります。第30回 FMES シンポジウムでは「ビッグデータ利活用と価値創造」をテーマにして,ビッグデータやデータサイエンスに造詣が深い方に,各々の専門分野の視点から,ビッグデータ時代にどのように向き合うか,どうすれば価値創造につながるか,さらに,ビッグデータを活用できる人材をどう育成するかなどについて講演いただきます。

(定 員) 150名

(プログラム)

(敬称略)

13:00～13:10 開会挨拶 FMES 会長 渡邊 一衛

13:10～14:00 講演1:「我が国におけるデータサイエンティストの現状と展望」

丸山 宏 (統計数理研究所 副所長 教授)

14:10～15:00 講演2:「製造業におけるデータ・ドリブン分析の適用事例」

吉野 睦 (㈱デンソー品質管理部 TQM 推進室担当次長)

15:10～16:00 講演3:「ビッグデータとビジネス・アナリティクス」

中川 慶一郎 (㈱NTT データ数理システム 取締役)

16:10～17:00 講演4:「ロングテール時代における,サービスを高度化させるデータの活用」

森 正弥 (楽天㈱ 執行役員 兼 楽天技術研究所長 兼 ビッグデータ部副部長)

17:00～17:05 閉会挨拶 日本品質管理学会(幹事学会)会長 中條 武志

(資料代) 4,000円(学生1,000円)税込 資料代は開催当日受付にてお支払いください。

(申込先) 一般社団法人 日本品質管理学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内

TEL 03-5378-1506 FAX 03-5378-1507 E-mail: apply@jsqc.org

(Web 申込) <http://www.jsqc.org/q/news/2014/07/11/order85/order.html>

詳細は, <http://www.jsqc.org/fmes/events/140711.html> をご参照ください。

日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014

社会に役立つロボティクス・メカトロニクス

- (日 時) 2014年5月25日(日)～29日(木)
- (場 所) 富山市総合体育館, 国際会議場, としま自遊館
富山市湊入船町12番1号(総合体育館)他
- (主 催) 一般社団法人日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (概 要) ROBOMECH2014は2014年5月25日(日)～29日(木)の日程で, 富山市総合体育館にて開催致します。講演会初日は, ワークショップやチュートリアル, また市民向けイベントも準備しております。ポスター講演は2日目から4日目の実施となります。会場の富山市総合体育館は, 富山駅から見て北側の新しく開発が進んでいる地域に位置する総合体育館であり, 44m×57.6mのメインアリーナが今回の会場となります。JR富山駅から徒歩5分の位置にあります。今後, ホームページにて情報を順次掲載します。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。
- (連絡先) ROBOMECH2014実行委員会
E-mail : robomech2014-ml@ml.sd.tmu.ac.jp
詳細は, <http://jsme.or.jp/rmd/robomech2014/> をご参照ください。

経営情報学会 2014 年春季全国研究発表大会

先端プロジェクトのマネジメント～イノベーションと宇宙～

- (日 時) 2014年5月31日(土)～6月1日(日)
- (会 場) 青山学院大学相模原キャンパス(神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1)
- (主 催) 一般社団法人経営情報学会
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (概 要) 本大会のテーマは「先端プロジェクトのマネジメント」であり, 科学の最先端のプロジェクトとして宇宙開発プロジェクトや産業界におけるイノベーション・プロジェクトを取り上げ, これからのマネジメントのあり方を考えたいと思います。
- 市場価値の創造や革新的なイノベーションを実施するためには科学技術を駆使した先端的なプロジェクトの成功が必須となってきています。先端プロジェクトでは未知の探求における不確実性や, 有能で個性的な研究者の統括と組織力の発揮などが要請され, 先端プロジェクトに学ぶことは次世代のプロジェクトマネジメントのあり方を考える上で大きな価値があると考えられます。次世代のマネジメントを考える活発な議論ができる大会となりますよう, 皆様のご参加を心よりお待ちしております。
- (問合せ先) E-mail : jasmin2014-wg@aim.aoyama.ac.jp
詳細は, http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2014_spring/index.html をご参照ください。

日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2014 夏

—安全・安心を支える機械システム—

- (日 時) 2014年6月20日(金)
- (会 場) 横浜国立大学 教育文化ホール 中会議室 (横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1)
- (主 催) 一般社団法人日本機械学会
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (概 要) 建設機械、工作機械、農業・食品機械、印刷機械をはじめとする各種産業機械の安全設計に関連する分野、また化学装置、化学プラント等、化学品製造に関わる化学機械関連の分野で活躍する技術者・研究者の交流を目的とする部門講演会を開催いたします。研究報告に関する講演だけでなく、日頃取り組んでいる技術的問題などの提起なども含め、多くの皆様の御講演および御参加をお待ち申し上げます。今回は、技術者・研究者の皆さんと学生さんとが日々の疑問を議論できるフリーディスカッションの時間も設けます。若手の皆さんは、「日本機械学会若手優秀講演フェロー賞」対象講演会となりますので、ぜひご参加ください。
- (募集分野) 一般セッション：産業・化学機械のイノベーションにおける課題と対策
OS：機械安全の適用による産業・化学機械のイノベーション
- (講演申込締切) 2014年5月7日(水)
- (参加登録料) 会員：5,000円、 会員外：7,000円、 学生員：2,000円、 一般学生：3,000円
(いずれも論文集1冊含) 当日講演会会場受付にてお支払いください。
- (問合先) 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 (担当職員：渡邊氏)
TEL：03-5360-3504 FAX：03-5360-3508 E-mail：watanabe@jsme.or.jp
詳細は、<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=2945> をご参照ください。

第6回信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム

(APARM2014)

- (日 時) 2014年8月21日(木)～23日(土)
- (会 場) 北海学園大学 豊平キャンパス 国際会議場 (札幌市豊平区旭町4丁目1番40号)
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (概 要) APARM (信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム) は来年で6回目の開催を迎える信頼性工学分野の国際会議です。過去10年間に渡り、幅広い信頼性関連テーマで海外の研究者/学生の皆様が参集され、討論できる場となっております。第6回シンポジウム (APARM2014) はテーマを “Recent Developments on Reliability, Maintainability and Dependability” と題し、平成26年8月21日～23日に札幌の北海学園大学で開催されます。皆様のご参加を心からお待ちしております。
- (問合先) APARM2014実行委員会 実行委員長 山本久志
〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6 首都大学東京システムデザイン学部
TEL/FAX:042-625-4789 E-mail：aparm2014@aparmnet.org
詳細は、<http://www.aparmnet.org/> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/4/18		http://www.reaj.jp/
<u>IEC ディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/4/22		http://www.reaj.jp/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/4/25		http://www.reaj.jp/
第 41 回横幹技術フォーラム 社会的課題解決のための イノベーション～社会システムとしての街づくり～	東京大学 文京区	2014/4/30		http://www.trasti.jp/forum/forum41_kyg.html
<u>2013 年度第 2 回見学会</u>	横浜市 崎陽軒(株)	2014/5/16		http://www.reaj.jp/
<u>関西支部 2013 年度第 3 回見学会</u>	大阪市立工業研究所 大阪市	2014/5/20		http://www.reaj.jp/
日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014	富山総合体育館 他 富山市	2014/5/25-29		http://jsme.or.jp/rmd/robomech2014/
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/5/30		http://www.reaj.jp/
経営情報学会 2014 年春季全国研究発表大会 先端プロジェクトのマネジメント ～イノベーションと宇宙～	青山学院大学相模原 キャンパス 神奈川県相模原市	2014/5/31-6/1		http://www.jasmin.jp/activity/zenko_taikai/2014_spring/index.html
レクチャーシリーズ 第 2 回「システムの信頼性・安全性」	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/3		http://www.reaj.jp/
日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2014 夏-安全・安心を支える機械システム-	横浜国立大学 横浜市保土ヶ谷区	2014/5/7		http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=2945
<u>日本信頼性学会第 22 回春季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/23	2014/4/14	http://www.reaj.jp/
2014F 年度 第 30 回 FMES シンポジウム ビックデータ利活用と価値創造	日科技連 千駄ヶ谷	2014/7/11		http://www.jsqc.org/fmes/events/140711.html
第 6 回信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム (APARM2014)	北海学園大学 北海道札幌市	2014/8/21-23		http://www.aparmnet.org/